

てき丸君News 第31号

発行：公益社団法人全国産業廃棄物連合会

〒106-0032 東京都港区六本木3丁目1番17号

TEL 03-3224-0811 FAX 03-3224-0820

<http://www.zensanpairen.or.jp>

第15回産業廃棄物と環境を考える全国大会 11月11日に岡山市で開催

当連合会、公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター、公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団の3団体が主催する「第15回産業廃棄物と環境を考える全国大会」を11月11日に岡山市で開催します。

開催概要は次のとおりです。皆様のご来場をお待ちしております。

(1) 日 時 平成28年11月11日(金) 13:30~17:20

(2) 場 所 ホテルグランヴィア岡山
岡山県岡山市北区駅元町1-5 電話 086-234-7000

(3) 出席者 処理業者、排出事業者、行政等

(4) 開催次第・行事内容

○開会式(13:30~)

○環境大臣表彰受賞式典(産業廃棄物関係事業功労者)(13:50~)

○基調講演(14:40~)

テーマ「廃棄物処理法の見直しについて」

講師：中尾 豊氏(環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部産業廃棄物課長)

○パネル討論会(15:30~)

テーマ「産業廃棄物処理業界における低炭素化について」

コーディネーター：荒井 真一氏(一般社団法人低炭素社会創出促進協会 審議役兼事業評価部長)

パネリスト：中尾 豊氏(環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部産業廃棄物課長)

脇本 靖氏(岡山県環境文化循環型社会推進課長)

坂本 規氏(銘建工業株式会社バイオマス事業部長)

岸 政彦氏(バイオディーゼル岡山株式会社代表取締役社長)

大塚 雅司氏(タマタイ産業株式会社代表取締役社長)

<以上掲載順不同、ご依頼中含む>

*参加申込方法等については、下記をご覧ください。

<http://www.zensanpairen.or.jp/taikai15/>

連合会よりお知らせ

●産廃処理業景況動向調査結果について(2016.4-6月期)●

2016年4-6月期の景況判断DIは▲32で、前回調査(▲32)と同水準となり、足踏み状態で推移しています。「人件費以外の費用増加」が上昇傾向にあり、設備老朽対応による修理費負担の増加といった意見もみられました。(調査部・戒能)

http://www.zensanpairen.or.jp/federation/02/06/keikyuu1604_06.pdf

●平成28年度第3四半期のセーフティネット保証5号の指定業種から外れました●

産業廃棄物処理業の4業種(産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物処分業、特別管理産業廃棄物収集運搬業、特別管理産業廃棄物処分業)が平成28年10月1日から12月31日までの指定業種から外れました。

(調査部・戒能)

官公庁関係ニュース

●中小企業等経営強化法に基づく固定資産税軽減措置の申請受付がスタート●

中小企業が行う機械装置の設備投資を支援するため、7月に施行された中小企業等経営強化法に基づく固定資産税の軽減措置の申請受付が開始されました。

今回の固定資産税の軽減措置は、中小企業者（資本金1億円以下等）が新たに取得する機械装置について、一定の要件を満たした場合に当該機械装置に係る固定資産税を2分の1に軽減（3年間）するというものです。

軽減対象となる機械装置は、10年以内に販売開始された投資額160万円以上の機械装置で、従来設備に比べて生産性が1%向上できること等が要件とされています。

産業廃棄物処理業者が上記の措置を受けるには、環境大臣宛に所定の申請書を提出します。また、この申請には、機械装置メーカーの工業会等が発行する証明書を添付しなければなりません。工業会等が発行する証明書については、当該メーカーにお問い合わせください。

中小企業等経営強化法及び同法に基づく固定資産税の軽減措置の手続き等は下記をご覧ください。

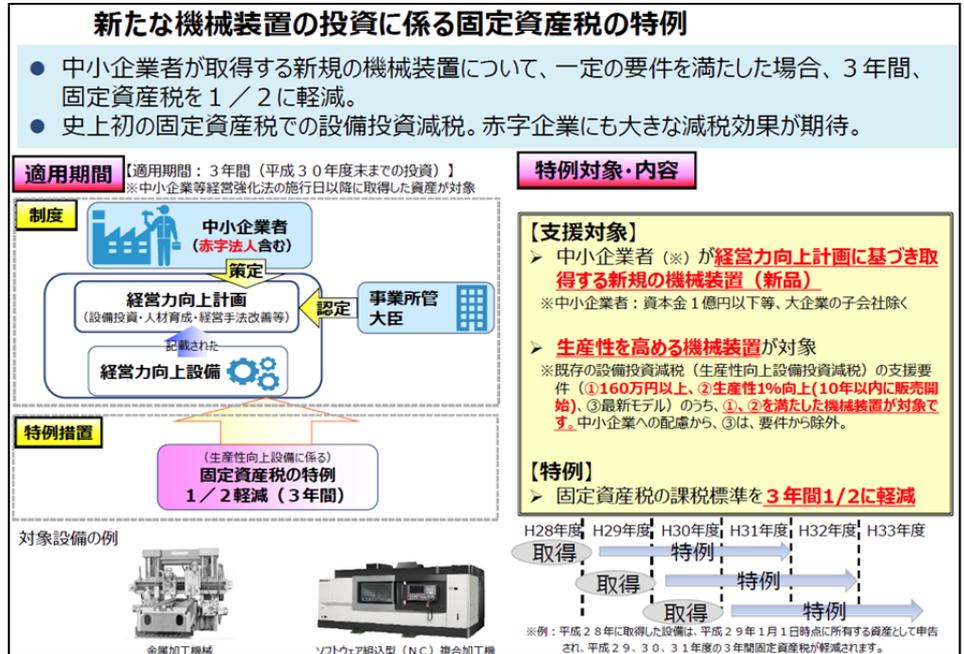
（総務部・古川）

- ・申請書の提出、申請手続きに関する問い合わせ：環境省産業廃棄物課 03-5501-3156
- ・中小企業支援措置の概要 <http://www.chusho.meti.go.jp/keiei/kyoka/>
- ・申請の手引 <http://www.chusho.meti.go.jp/keiei/kyoka/2016/160701tebiki.pdf>

【環境省】

◇食品循環資源の再生利用等の促進に関する食品関連事業者の判断の基準となるべき事項の改定について（中央環境審議会答申）

<http://www.env.go.jp/press/103012.html>



部会便り

●最終処分分会●

平成28年度第2回最終処分分会運営委員会を9月6日に開催しました。

議題は「廃棄物処理法の見直し」「特定産廃を埋め立てた最終処分場の廃止基準」「水銀に関する水俣条約のための国内措置」「維持管理マニュアルの改訂」でした。

このうち「水銀に関する水俣条約のための国内措置」では、事務局から国の専門委員会での検討状況について報告を行った後、意見交換を行いました。また、「維持管理マニュアルの改訂」では、連合会発行の同書の改訂版作成について検討の結果、改訂に向けて作業を進めていくこととなりました。（調査部・福田）

第1回 産業廃棄物処理能力テストの受験者募集

産業廃棄物処理業界では、処理の「受け手」から資源等の「創り手」への転換が求められており、より社会に役立ち信頼される姿として、地域住民等から信頼され、排出事業者が安心して仕事を任せられる能力を有する従業員の育成が益々重要となっています。

そこで、当連合会では初めての企画として、従業員の産業廃棄物処理に係る能力測定やスキルアップのツールとして下記の要領でインターネット環境を利用した全国統一の能力テストを実施いたしますので奮ってご参加ください。

1. 試験期間：2016年12月1日～12月20日（期間限定）
2. 受験資格：お持ちのインターネット環境を使って受験出来る方
（PCメールアドレスが必要です。試験はパソコンとスマホから可能）
3. 受験費用：初回のため、無料（ただし通信費等は個人負担）
4. 募集人数：1500名まで
5. 申込受付期間：2016年10月12日～11月11日まで
6. 試験科目

| | 科 目 名 |
|--------------|--|
| 必 須 | （共通）廃棄物処理法等（全10問） （共通）業務管理（委託契約、マニフェスト、帳簿等）（全10問） （共通）安全衛生、事故の予防・対策（全10問） |
| 選択（共通） | （共通）コミュニケーション力、顧客対応等（全10問） |
| 選 択 （業区分） | 収集運搬業務（全10問） 中間処理業務（破碎）（全10問） 中間処理業務（焼却）（全10問） 中間処理業務（中和）（全10問） 最終処分業務（全10問） |

7. 本テストの特長

- (1) 一社で、何人でも受験可能です。
- (2) 試験の結果は、総合的な合否判定ではなく、各問いに対して正解とその解説を表示し、各科目単位で点数を付けます。
- (3) 最後に、修了証を表示します。

・修了証サンプルイメージ



○受験をご希望の方は、

公益社団法人全国産業廃棄物連合会の下記URLからお申込みください。

<http://www.zensanpairen.or.jp/jinzai/2016/> （2016年10月12日～）

○お問い合わせ先

（公社）全国産業廃棄物連合会 人材育成担当（鎌田、竹内）

email : ability-as@zensanpairen.or.jp

TEL: 03-3224-0811（9時～17時） FAX : 03-3224-0820

「産業廃棄物処理業務研修会(主任レベル)」の開催

－平成28年度産業廃棄物処理業における人材育成方策調査検討業務－

当連合会では昨年度に引き続き、環境省より「平成28年度産業廃棄物処理業における人材育成方策調査検討業務」を受託いたしました。本業務では、産業廃棄物処理業に携わる社員の能力等を向上させるため、研修、資格等、人材育成のあり方について調査検討を進めるものです。

今年度の研修会は、教材の改善、カリキュラムの見直しにより中間処理業を破砕、焼却、中和の3コースを設けて細分化しました。また今後の全国展開を視野に入れ、開催会場を仙台、東京、名古屋、大阪、福岡の全国5箇所に拡大して行います。

1. 研修会の特長

産業廃棄物処理の現場業務を担っている主任レベルの方に、「必要とされる知識・情報」、「業務を遂行する上での留意点」、「業界の最新情報」をわかりやすく教授し、研修の翌日から日々の業務に役立つ、研修を行います。

2. 受講対象者

産業廃棄物処理業において業務を行っている方のうち「主任レベル相当」を想定。

3. 定員 各コース、30名

4. 研修会カリキュラム

午後の専門科目の講義を120分とした場合の時間を記載しています。研修コースにより講義時間を変更することもあります。

| 研修コース | 中間処理（破砕） | 収集運搬 | 中間処理（焼却） | 中間処理（中和） | 最終処分 |
|-------------|------------------------|-----------|---------------|---------------|-----------|
| 日程 | 11月29日（火） | 12月16日（金） | 1月17日（火） | 1月20日（金） | 1月27日（金） |
| 会場 | 東京 | 福岡 | 名古屋 | 大阪 | 仙台 |
| 9:30-9:40 | 1. オリエンテーション（10分） | | | | |
| 9:40-11:10 | 2. 廃掃法及び環境保全の取り組み（90分） | | | | |
| 11:10-11:20 | 休憩（10分） | | | | |
| 11:20-12:20 | 3. 顧客対応等について（60分） | | | | |
| 12:20-13:00 | 昼食（40分） | | | | |
| 13:00-14:00 | 4. 安全衛生及び諸ルールの遵守（60分） | | | | |
| 14:00-14:10 | 休憩（10分） | | | | |
| 14:10-16:10 | 5. 中間処理業務（破砕） | 5. 収集運搬業務 | 5. 中間処理業務（焼却） | 5. 中間処理業務（中和） | 5. 最終処分業務 |
| 16:10-16:20 | 6. アンケート（10分） | | | | |
| 16:20-16:30 | 事務局連絡（10分） | | | | |

○お問い合わせ先

（公社）全国産業廃棄物連合会 人材育成担当（鎌田、竹内）

email：ability-as@zensanpairen.or.jp

TEL：03-3224-0811（9時～17時）FAX：03-3224-0820

平成28年度 産業廃棄物処理業従事者能力アップセミナーのお知らせ

当連合会では平成28年度「産業廃棄物処理業従事者能力アップセミナー」を下記の要領で開催いたします。

受講希望の方は、当連合会HP、または参加申込用紙に必要事項をご記入の上、お申込頂きますようお願い致します

<日程>

◎営業コース

| 開催地 | 開催日 | 会場名 | 定員(人) |
|-----|----------------|--------|-------|
| 愛知 | 平成28年 11月1日～2日 | 吹上ホール | 各会場 |
| 東京 | 平成28年 11月8日～9日 | 連合会会議室 | 30 |

◎現業管理コース

| 開催地 | 開催日 | 会場名 | 定員(人) |
|-----|------------------|---------|-------|
| 大阪 | 平成28年 10月18日～19日 | 大阪商工会議所 | 各会場 |
| 愛知 | 平成28年 11月29日～30日 | 吹上ホール | 30 |

※1日目9:45～18:30、2日目9:30～16:30までの予定です。

<カリキュラム>

| | 営業コース | 現業管理コース |
|---------|---|--|
| 講義 | <ul style="list-style-type: none"> 業界をとりまく最新動向（仮題） 産廃処理事業の経営戦略と社員への期待（仮題） 営業社員の基本的役割 マーケティングの基本 プレゼンテーションの基本 | <ul style="list-style-type: none"> 業界をとりまく最新動向（仮題） 産廃処理事業の経営戦略と社員への期待（仮題） 操業管理、設備保全、原価管理 プレゼンテーションについて 安全衛生管理概論 |
| グループワーク | <ul style="list-style-type: none"> 自社紹介 顧客情報管理シートの作成 ケーススタディ、グループワーク | <ul style="list-style-type: none"> 自社紹介 安全風土づくりの研究 ケーススタディ、グループワーク |

※すべての科目を受講し、研修会を修了された方には、修了証を交付いたします。
 ※本セミナー（現業管理コースのみ）は、継続学習制度（CPDS）に認定されております。

○受講申込・問合せ先

（公社）全国産業廃棄物連合会HP（<http://www.zensanpairen.or.jp>）をご覧頂くか、事業部／能力アップセミナー担当・横山（TEL 03-3224-0811）までご連絡下さい。

●INDUST 10月号特集「2020」を生き抜く～産廃処理業のゆくて～●

東京オリンピック・パラリンピックが開催される「2020」は、「産廃元年」、一廃棄物処理法制定から50周年の節目の年でもあります。それを目掛け、リニア新幹線建設や地下鉄新線計画、市街地再開発など、日本各地が胸躍る話題に絶えないが、足元に忍び寄る「2020年問題」の影からは目を背けることはできません。

2020年には団塊世代の高齢化が進行し、社会保障費が増大。同時に地方から人口減少の波が押し寄せ、経済活動は縮小が余儀なくされます。労働人口の枯渇と産業の海外移転、老朽化するインフラ、地方の消滅と都市の衰退、そして廃棄物の減少。目標であるはずの「2020」を起点に、沸騰を始める諸問題に産廃業界は対処できるのでしょうか？

逆境をチャンスに変えるために、産廃業界・処理企業の取るべき戦略を模索します。

(事業部・東方)

- 主な行事予定 - (10月11日～11月30日)

【10月】

- 11日 第2回処分場早期安定化分科会
- 12日 第31回理事会
- 13日 第1回建設汚泥分科会
- 18～19日 能力アップセミナー現業管理コース
(大阪)
- 21日 正会員事業研修
- 25日 産業廃棄物処理実務者研修会 (佐賀)

【11月】

- 1～2日 能力アップセミナー営業コース (愛知)
- 2日 第4回再生砕石分科会

- 8日 産業廃棄物処理実務者研修会 (群馬)
- 8～9日 能力アップセミナー営業コース (東京)
- 10日 第7回青年部協議会カンファレンス (岡山)
- 11日 第15回産業廃棄物と環境を考える全国大会
(岡山)
- 17～18日 最終処分場技術研修会 (福岡)
- 18日 産業廃棄物処理実務者研修会 (沖縄)
- 29日 産業廃棄物処理業務研修会 (主任レベル)
中間処理業務 (破碎) (東京)
- 29～30日 能力アップセミナー現業管理コース
(愛知)